

## 看護部教育目的

# “発信力・傾聴力・問題解決力”を育み

# ひとりひとりの看護師としての成長を支えます

### 第5段階

1. 患者の状況を経験をもとに瞬時にアウトカムを予測し、そのアウトカムに向かって実践することができる
2. 看護単位における課題を明確にし、周囲を巻き込みながら目標達成に向けて行動できる
3. 組織における教育的な役割を率先して取ることができる
4. 倫理的意思決定の場面において多職種を巻き込みながらリーダーシップをとることができる
5. 看護研究を活用し看護の本質を深めながら実践し伝えることができる

### 第4段階

- 1-①患者の状況に対応した創造的な看護実践ができる
- 1-②役割モデルとしての行動がとれる
2. 看護単位における課題を明確化し、目標を示しながら管理行動がとれる(具体的に)
3. 看護単位における教育的役割をとることができる
4. 管理・専門領域における研究開発、変革推進者となることができる
5. 倫理的意思決定の場面においてリーダーシップをとることができる
6. 看護研究を通して科学的に看護を捉えることができる

### 第3段階

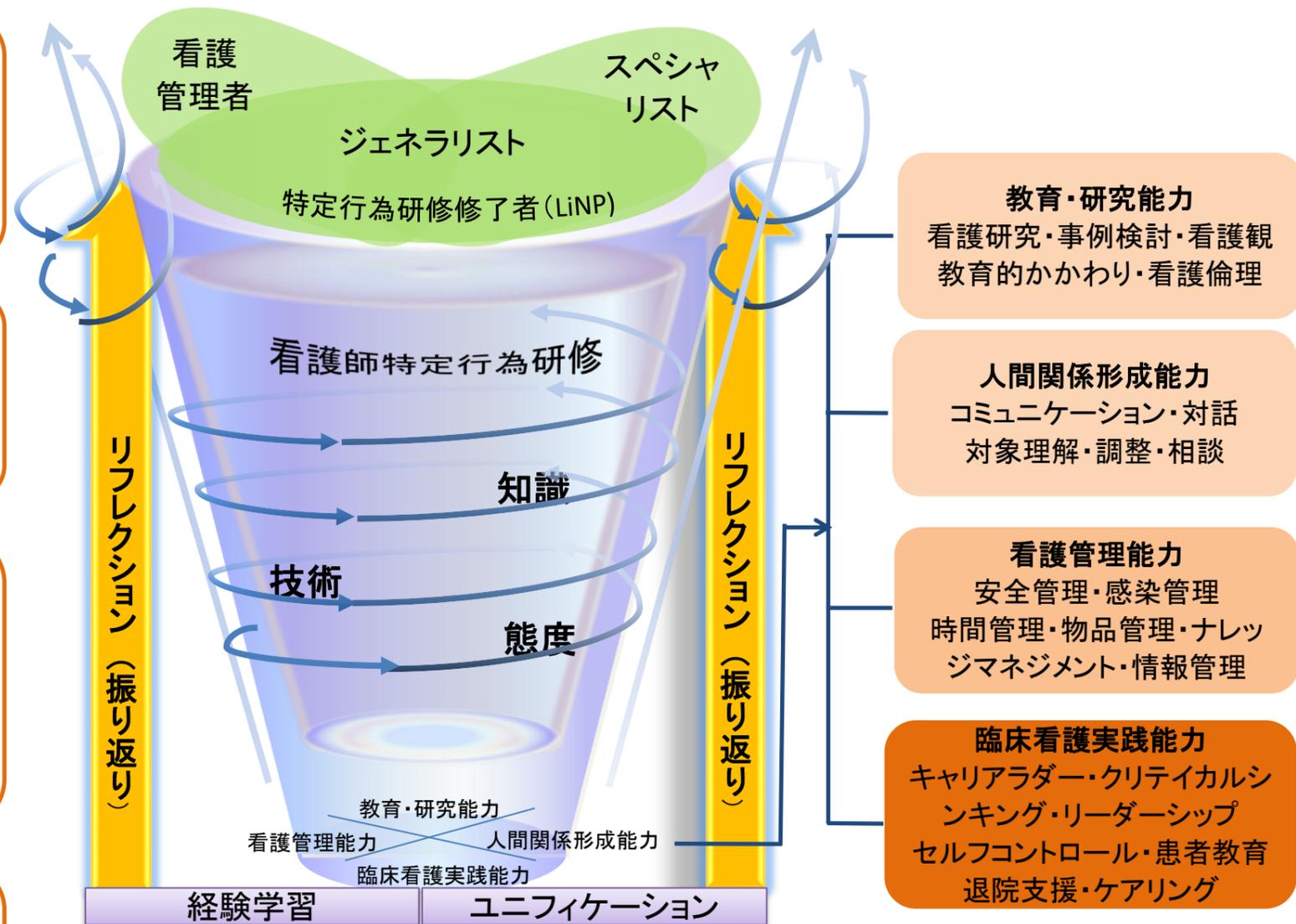
1. 外来通院・入院を通して患者の看護に責任を持って実践できる
2. 後輩や学生に指導的、教育的に関わることができる
3. 医療チームにおいてリーダーシップが発揮でき、他部門と協働できる
4. 患者の倫理的意思決定を支えることができる
5. 看護単位の目標達成に積極的に協力できる
6. 看護研究的な活動を通して科学的に看護を捉えることができる

### 第2段階

1. 看護過程をふまえた個別的ケアが実践できる
2. 院内外の学びを看護実践の場に生かすことができる
3. チームリーダーの役割と責任を果たすことができる
4. プリセプターの役割と責任を果たすことができる
5. 課題に対し研究的に取り組み、看護実践を振り返ることができる
6. 倫理的側面のアセスメントができる
7. 看護単位の役割を担うために積極的に参加できる
8. 病院の理念を理解し、看護部の理念と目標をふまえた自己目標に取り組むことができる

### 第1段階

1. 日常生活の援助のための知識・技術・態度を身につけ、安全で確実なベッドサイドケアが実践できる
2. 受け持ち患者のケアを通して看護の知識を深めることができる
3. チームメンバーの役割と責任を果たすことができる
4. 倫理的側面が理解できる
5. 組織の一員として規律を守り行動できる
6. 病院の理念、看護部の理念と目標を理解して行動ができる
7. 実践を通じた看護の探求に関心を持つことができる



広島大学小川哲次先生より改変